



9月市議会

# 都市農業保全 で質問・提案

農業後継者育成

農業体験農園の拡大

ハウス栽培農家支援

直売所設置

9月市議会一般質問で、都市農業の保全問題を取り上げました。都市農業は、新鮮で安全な農産物を供給し、災害時の防災空間や心やすらぐ緑地空間などの役割を果たしています。私は、将来の希望がもてる農政にする。

農業で食べていける、生活できるという見通しを示すことの重要性を指摘し、4点質問しました。その質問と答弁の概要をお知らせします。(いちかわインターネット録画中継でも見ることができます)

## 体験農園の拡充 部長「農家開設の市民農園を増やす」

(質)練馬区では、体験農園を増やし、支援している。利用者は、入園料・収穫代金を払い、農家の指導のもと種まきから収穫まで体験する。農家の収入が増え、後継者も増えている。市川市も考えられないか。



(答)体験農園は農家の負担が大きい。市としては農家開設型の市民農園(現在3か所)を周知し、農家の収入につながる市民農園を増やしていきたい。

## 後継者対策 部長「喫緊の課題。体制を整備・充実する」

(質)市川市の農家戸数は25年前と比べ、半減(533戸)している。就農者も大半が高齢者。千葉市などは、新規就農者への研修を行い、一人月5万円の奨励金も出している。市川市も、後継者育成対策に力を入れるべきではないか。

(答)農業を担う人材の育成・確保は喫緊の課題と認識している。農地が必要な新規就農者と困難な農業者を結び付ける契約事務の支援。4

Hクラブへの育成支援。「いちかわ援農隊」を立ち上げている。他市の支援策も参考に、人材育成確保に向けたサポート体制を整備・充実する。



## ハウス栽培農家 部長「支援を総合的に検討する」



(質)トマトやイチゴ、野菜、花きなど、ハウス栽培農家が頑張っている。5年に一度ビニールの取り換えに、一回に100万円を出費する農家もある。隣の船橋市ではハウス栽培

農家に補助金を出し、支援している。

(答)生産性が高く、農業後継者が増えている。しかし収入・支出共に安定せず、非常に厳しい状況もある。新規建設費用やビニール資材、燃料・肥料などのランニングコストを含めた総合的な経費について、その支援のあり方を県の理解と協力を求めながら検討していきたいと考えている。

(質)私は3年前、2009年12月議会の一般質問で取り上げた。市も「検討している」と答弁した。1年以上の検討状況の結果はどうか。今後の直売所設置の考え方について伺います。

(答)この間、直売所設置を検討してきたが、現状では困難という結論になった。今後、大型スーパーなど民間の直売所の活用を図りながら、外環道路の開通に合わせて「道の駅」ができないか検討をすすめている。

(写真は「道の駅やちよ」ホームページから)



直売所設置  
市長「外環開通後  
道の駅」を検討

# 通学路118か所危険

## 9月補正予算3000万円計上



百合台小学校通学路の宮久保商店街通り、歩道部分をカラー舗装にします

市内の各小学校には、それぞれの学区に通学路が指定されています。京都府亀岡市で4月、小学生ら10人が車にはねられ死傷した事故を受けて、市川市は小学校39校の通学路危険箇所点検を行った結果、118か所で対策が必要になりました。

9月市議会の補正予

### 百合台小学校の安全対策も予算化

算で、ガードレールの設置や歩行者と車道を分離するカラー舗装など、3000万円を予算化しました。



曾谷6丁目にある百合台小学校の通学路にドライバーに歩行空間を示すカラー舗装や防護柵などの整備を行います。私は建設経済常任委員会で、118か所の優先順位の考えと県道の要望はどうなっているのかとの質疑に対し、道路安全課が省けることになり、子ども医療費助成制度は、入通院ともに中学校3年生までの子どもを助成対象として、

改正予算が計上されました。これで自己負担金300円のみで受診

が省けることになり、子ども医療費助成制度は、子育て世帯の

長は、「安全対策はどのも優先である」と述べ、「可能なところから対応していく。県道は6か所の要望があり、県は3件対応すると聞いている。今後も県と連携を密にしていく」と答弁しました。

市政アンケートの回答では「市川の道路がひどすぎる。歩道など安全対策に力をいれてほしい」との声が多く寄せられています。

### 子ども医療費12月から現物給付

平成24年12月1日

から入院・通院とも医療費を現物給付にするためのシステム

が可能となります。市役所に行つて償還払いの手続きの手間

経済的負担を軽減するため、子どもが病

気や怪我などにより



受診した場合の医療費を県と市町村で助成する制度です。日本共産党や新婦人の会も一貫して要求してきました。

### 力上 一人ひとりに合わせた学向 少人数指導の推進

子どもの学力が低下し、塾に行かせる家庭が多い。市川市は、昨年全国学力調査を実施したが、成果と今後の活かし方について質疑しました。

子どもが低

学校教育部長は、

「小学校5年、中学2年生を対象にテストを実施した。数学・算数は全国平均より上だが、国語で下回った。今後、分析結果をまとめ、各小中学校に配布する。そして学力の引き上げに、一人ひとりにあった少人数指導を推進していく」と答弁しました。



### 大柏小学校校庭の照明を明るくします

市川市の学校施設開放事業は「スポーツ及び文化活動を通じて地域住民の生涯学習意欲の高揚を図る」ことを目的に、全56校の施設を開放しています。

保護者から「大柏小学校運動場の夜間照明が暗いので、もっと明るくしてほしい」との

要望があり、市の担当課に申し入れました。市から「明るい電球に取り替えます」との回答がありました。



仕事  
くらしの  
悩み

お気軽に  
相談を

連絡先 金子貞作 337-6184 (夜間)

### 編集後記

私も60歳になり、市から11月還暦式のご案内が届きました。議員として、いっそう健康に留意したいと思えます。万歩計を持ち歩くことや筋力トレーニングに心がけています。

29日間の日程で開かれた9月市議会も10月5日で終了。私が入り上げた一般質問の項目は、都市農業について、委託労働者の処遇改善、大野町3丁目排水対策、市の不交付団体、違反建築物の対策。今回は市長も答弁に立ちました。